

【報道関係各位】

年末年始の過ごし方に関する調査

- 2012年のお正月は「家で過ごす」94%。「家族と一緒に」8割超
- 年末年始にかける予算は、平均6万円。昨年より「増やす」10%
- おせち料理は「手作りする」3割、「購入」が約7割
購入予算は、2年前より上昇。

2011年 12月 19日
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉）は、全国の20～69歳の男女を対象に、「年末年始の過ごし方に関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間 2011年12月2日（金）～12月4日（日）。有効回答数は2000名から得られました。

【調査結果概要】

【1】2012年のお正月は「家で過ごす」人が94%。「家族と一緒に」8割超

全国の20歳～69歳の男女を対象に、年末年始をどこで過ごす予定か尋ねたところ、「自宅」が73%、「（親・義親の住んでいる）実家」が21%と「家」で過ごす人は合計で94%となりました。また、年明けの瞬間を誰と過ごすか尋ねたところ、「家族」が86%と大多数を占めています。お正月を家族との絆をふかめる大切な行事だと認識している人も多く、「お正月は家族の大切さを再認識する」という回答が76%ありました。

帰省先があるかどうかを尋ねたところ、ある人は64%でした。帰省先がある人に、今年の年末年始に帰省する予定かを尋ねると、「帰省する予定」という回答は62%、「帰省する予定はない」は28%となりました。

今年帰省する理由については、「両親や親族に会いたいから」が77%で最も多く、次いで「のんびりできるから」が37%、「美味しい料理が食べられるから」が30%、「自分の家族を両親や親族に合わせるため」が28%でした。帰省先別にみると、東北地方で「両親や親族に会いたいから」「のんびりできるから」が他の地域に比べ多くなっています。また、北海道地方では、「美味しい料理が食べられるから」が46%と他地区に比べ高くなっていました。

【2】年末年始にかける予算は、平均6万円。昨年より「増やす」10%

今年の年末年始にかける予算について尋ねました。予算の平均額は6万円で、分布をみると「5万円以上10万円未満」が27%で最多、次いで「3万円未満」が26%でした。年代別にみると、高齢層になるほど予算は高くなっています。

年末年始の出費については、昨年と比べて「増やす予定（10%）」となっており、「減らす予定（7%）」を上回っています。「変わらない」という回答は83%でした。

【3】おせち料理は、「手作り」3割、「購入」が約7割。購入予算は2年前に比べ上昇。

今年、おせち料理を食べる予定の人に、どのように用意するか尋ねたところ、「煮物など一部手作りして他は購入する」が54%、「すべて購入する」は13%となっており、おせち料理を購入する人は67%となりました。2009年の調査と比較すると、手作りする人が減少し、購入する人が4ポイント上昇しています。

おせち料理の予算について尋ねると、「5,000～10,000円未満」が26%で最も多く、次いで「10,000円台」が23%、「3,000～5,000円未満」が17%となっています。2009年調査と比較すると、「1万円以上」と回答した人が4ポイント上昇しており、大人数用のおせちや高級おせちの購入が増えていることが推測できます。

▼詳細レポート「年末年始に関する調査」URL

http://www.macromill.com/r_data/20111219newyear/index.html

「年末年始の過ごし方に関する調査」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ								
調査地域:	全国								
調査対象:	20～69 才の男女 (マクロミルモニタ会員)								
有効回答数:	合計 2000s		20代	30代	40代	50代	60代	小計	
		男性	169s	220s	203s	195s	211s	998s	
		女性	162s	215s	202s	198s	225s	1002s	
		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
		90s	139s	691s	362s	327s	113s	59s	219s
※性・年代・地方別に平成 22 年国勢調査の構成比に合わせる形で回収した。									
調査日時:	2011 年 12 月 2 日 (金) ～12 月 4 日 (日)								
調査機関:	株式会社マクロミル								

I. 「年末年始の過ごし方」について

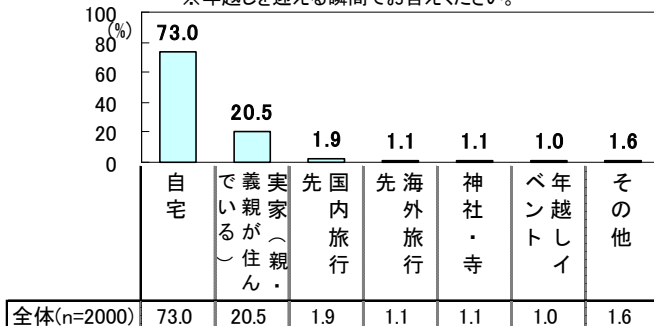
■ 2012 年のお正月は「家で過ごす」人が 94%。「家族と一緒に」8 割超

全国の 20 才～69 才の男女を対象に、年末年始をどこで過ごす予定か尋ねたところ、「自宅」が 73%、「(親・義親の住んでいる)実家」が 21%と「家」で過ごす人の合計は 94%となりました。(図 1)

また、年明けの瞬間を誰と過ごすか尋ねたところ、「家族」が 86%と大多数を占めています。(図 2)

【図1】今年の年末年始を過ごす場所

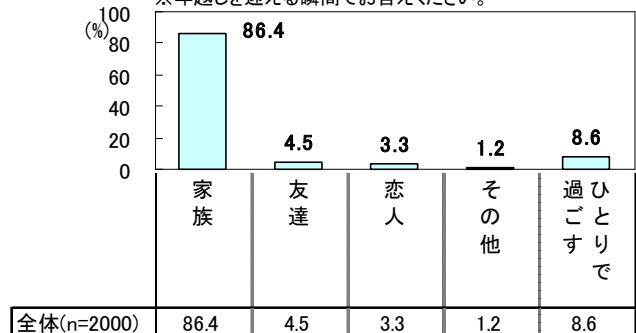
Q.あなたは、今年の年末年始をどこで過ごしますか。(ひとつだけ)
※年越しを迎える瞬間でお答えください。



家で過ごす計
93.5 %

【図2】今年の年末年始を過ごす人

Q.あなたは、今年の年末年始をだれと過ごしますか。(複数回答)
※年越しを迎える瞬間でお答えください。



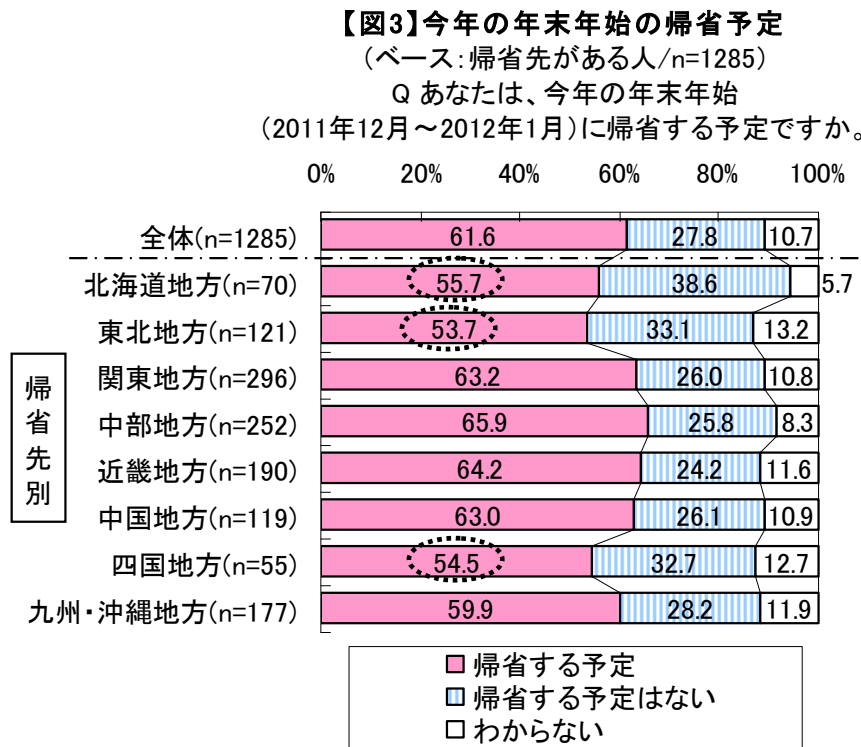
II. 「帰省」について

■ 年末に帰省する人は、(帰省先がある人の) 約6割

(親、配偶者の親などが住んでいる) 帰省先があるか尋ねたところ、64%の1285人が「(帰省先が) ある」と回答しました。

帰省先がある人に、今年の年末年始(2011年12月～2012年1月)に帰省する予定があるかどうか尋ねたところ、「帰省する予定」と回答した人は62%、「帰省する予定はない」は28%、「わからない」は11%となりました。

帰省先別にみると、大都市圏から遠距離の北海道地方、東北地方、四国地方で「帰省する予定」と回答した割合が54～56%と他地区に比べ低くなっています。(図3)



※帰省先が海外の場合は帰省先別の集計に記載していません

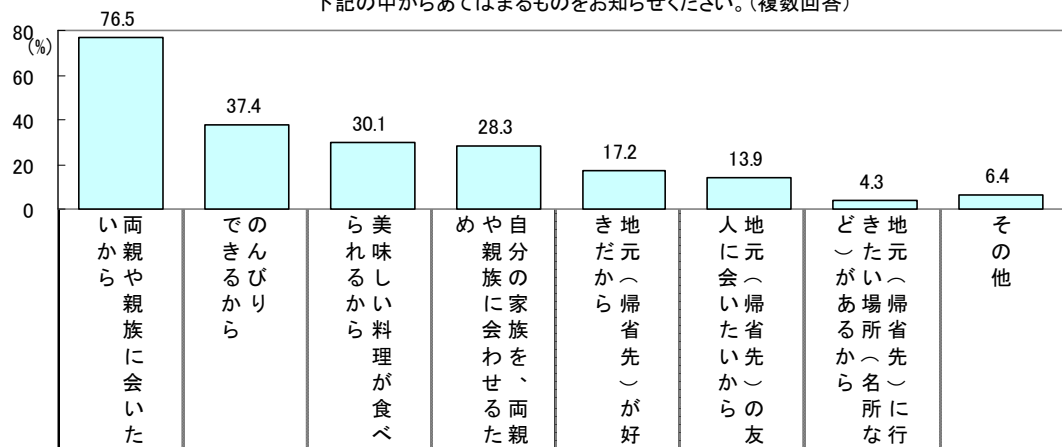
■ 今年帰省する理由は、「両親や親族に会いたいから」が77%で最多

今年帰省する人に、今年帰省する理由について尋ねたところ、「両親や親族に会いたいから」が77%で最も多く、次いで「のんびりできるから」が37%、「美味しい料理が食べられるから」が30%、「自分の家族を両親や親族に合わせるため」が28%となりました。

年代別にみると、若年層ほど「のんびりできるから」「美味しい料理が食べられるから」が多くなっています。また、30～40代では「自分の家族を両親や親族に合わせるため」が他年代に比べ高くなっています。

帰省先別にみると、東北地方で「両親や親族に会いたいから」「のんびりできるから」が他地区に比べ多くなっています。また、北海道地方では、「美味しい料理が食べられるから」が46%と他地区に比べ高くなっています。(図4)

【図4】今年、帰省する理由(ベース:今年帰省する人/n=791)
Q.あなたが、今年帰省する理由は何ですか。
下記の中からあてはまるものをお知らせください。(複数回答)



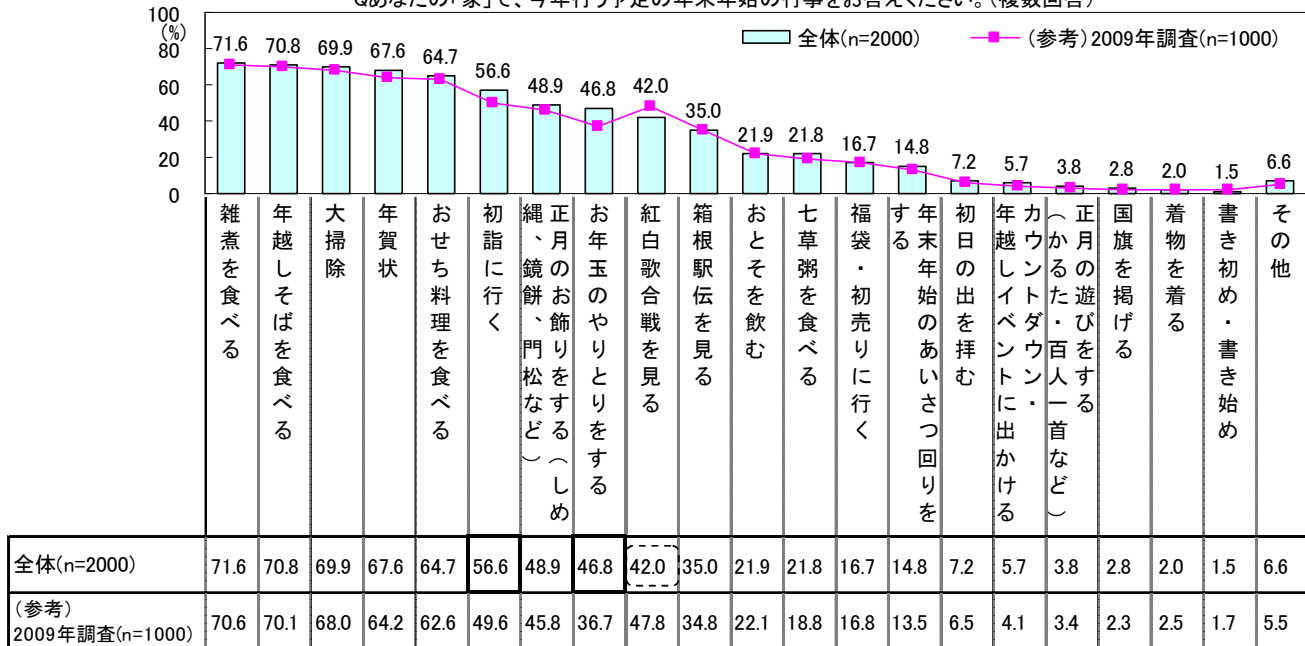
	い両親や親族に会いた	のんびりできるから	美味しい料理が食べ	めや自分の家族に合わせるため、両親	き地元(帰省先)が好	人地に元(帰省先)の友	どき地元(帰省先)の名所に行	そ	
全体(n=791)	76.5	37.4	30.1	28.3	17.2	13.9	4.3	6.4	
年代別	20代(n=191)	73.8	51.3	38.2	20.4	27.2	5.2	5.8	
	30代(n=228)	73.7	38.2	30.3	35.5	17.1	4.4	7.0	
	40代(n=186)	79.6	34.9	32.3	39.8	12.9	5.4	6.5	
	50代(n=130)	81.5	27.7	19.2	15.4	8.5	9.2	6.9	
	60代(n=156)	75.0	17.9	19.6	17.9	17.9	16.1	3.6	5.4
帰省先別	北海道地方(n=39)	69.2	33.3	46.2	38.5	12.8	5.1	2.6	5.1
	東北地方(n=65)	81.5	47.7	32.3	24.6	21.5	16.9	3.1	4.6
	関東地方(n=187)	75.9	33.7	26.7	29.4	15.0	11.8	4.3	7.0
	中部地方(n=166)	77.7	39.8	34.3	27.7	15.7	14.5	3.0	6.0
	近畿地方(n=122)	79.5	41.8	29.5	26.2	17.2	14.8	7.4	4.9
	中国地方(n=75)	70.7	38.7	28.0	28.0	18.7	17.3	2.7	6.7
	四国地方(n=30)	73.3	16.7	20.0	30.0	13.3	16.7	6.7	3.3
九州・沖縄地方(n=106)	76.4	34.9	26.4	28.3	21.7	14.2	3.8	10.4	

Ⅲ. 「年末年始の行事」について

■ 年末年始の行事、今年「雑煮・年越しそばを食べる」「大掃除をする」予定の人は7割 「おせち料理を食べる」65%、「初詣に行く」57%

年末年始に予定している‘行事’について尋ねたところ、「雑煮を食べる(72%)」「年越しそばを食べる(71%)」「大掃除(70%)」が7割以上、次いで「年賀状」が68%、「おせち料理を食べる」が65%、「初詣に行く」が57%となりました。2009年調査と比較すると、「お年玉のやりとりをする」は10ポイント上昇、「初詣に行く」も7ポイント上昇しています。一方、「紅白歌合戦を見る」は6ポイント減少しています。(図5)

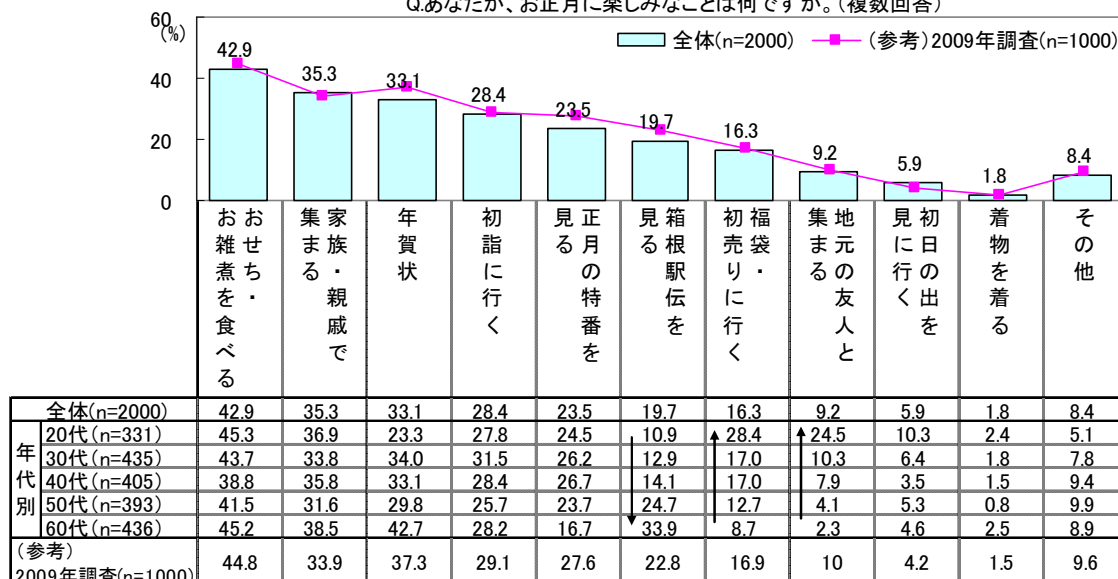
【図5】今年の年末年始の過ごし方
Qあなたの「家」で、今年行う予定の年末年始の行事をお答えください。(複数回答)



■ お正月に楽しみなこと、「おせち・お雑煮」が43%、「家族・親戚で集まる」が35% 若年層は「福袋・初売り」「地元の友人と集まる」、高齢層は「箱根駅伝」

お正月に楽しみなことについて尋ねたところ、「おせち・お雑煮を食べる」が43%で最も多く、次いで「家族・親戚で集まる」が35%、「年賀状」が33%となっています。年代別にみると、「福袋・初売りに行く」「地元の友人と集まる」は若年層ほど高く、一方「箱根駅伝を見る」は高齢層ほど高くなっています(図6)

【図6】お正月に楽しみなこと
Qあなたが、お正月に楽しみなことは何ですか。(複数回答)



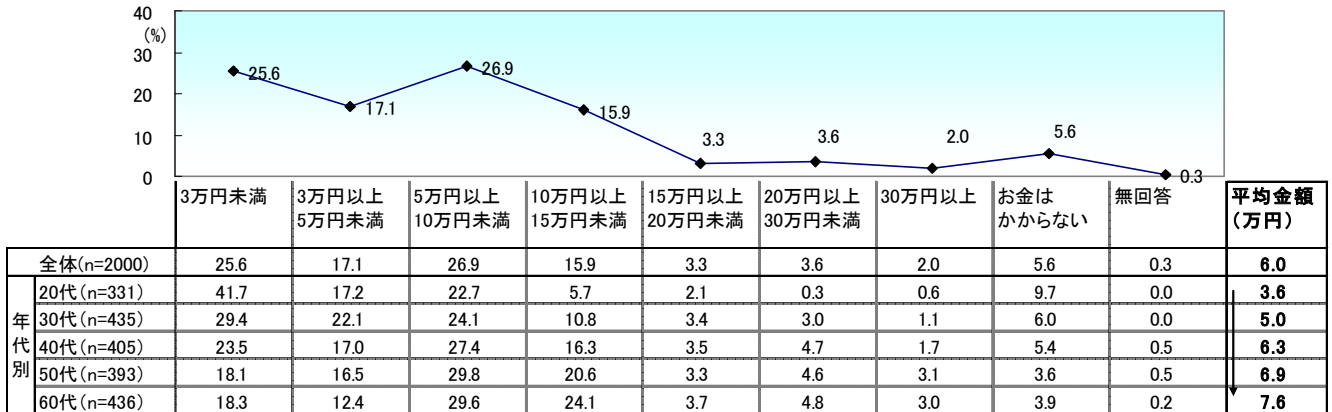
IV. 「年末年始の出費」について

■ 今年の年末年始にかかる予算は、平均6万円

今年の年末年始にかかる予算について尋ねたところ、「5万円以上10万円未満」が27%で最多、次いで「3万円未満」が26%、平均は6万円となりました。年代別では、高齢層になるほど高くなっています。(図7)

【図7】年末年始にかかる予算

Q.あなたの今年の年末年始にかかる予算はいくらくらいですか。
※帰省の費用や旅行など年末年始の特別な出費の合計でお答えください。



※平均値の算出にあたり、無回答は除外して算出しています。

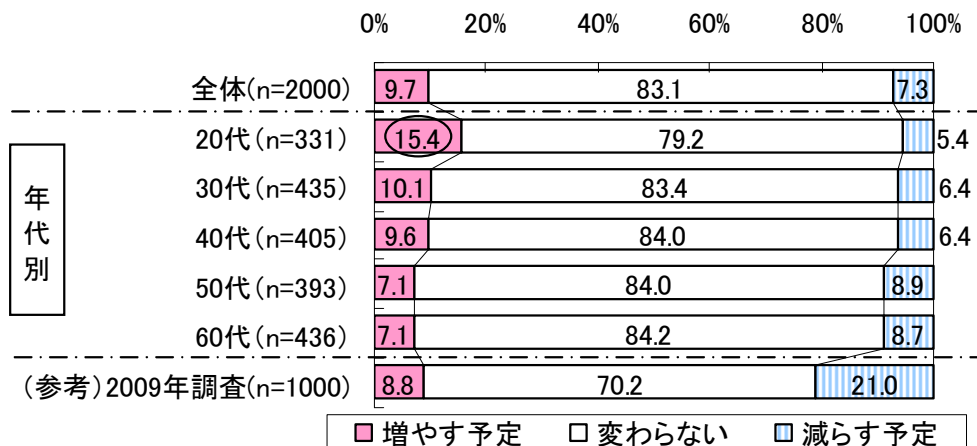
■ 今年の年末年始にかかる出費を昨年に比べ、「増やす予定」10%、「減らす予定」7%

今年の年末年始にかかる出費を昨年に比べ、増やす予定か減らす予定か尋ねたところ、「増やす予定」は10%、「減らす予定」は7%、「変わらない」は83%となりました。

年代別にみると、20代で「増やす予定」と回答した人は15%と他年代に比べ多くなっています。(図8)

【図8】年末年始の出費増減の予定

Q.あなたは今年の年末年始にかかる出費を、
昨年に比べ増やす予定ですか、減らす予定ですか。

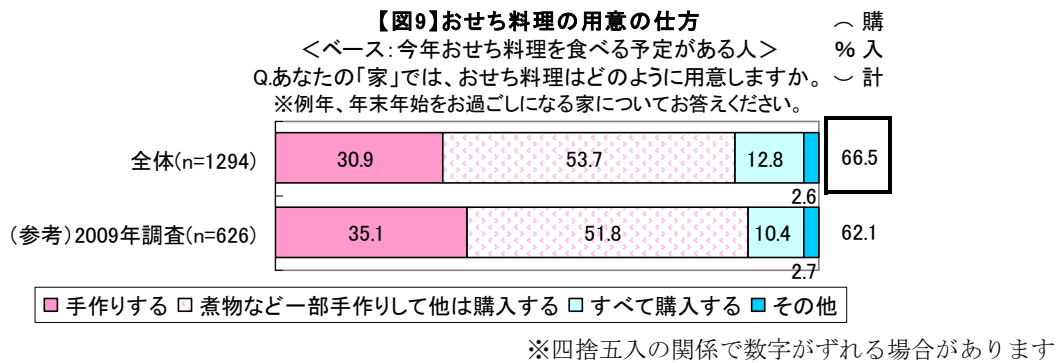


V. 「おせち料理」について

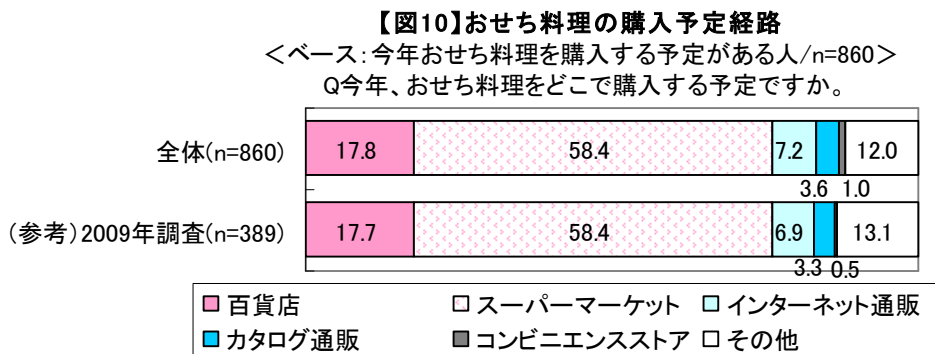
■ 今年のおせち料理を「購入する」人は67%、おせち料理の購入は増加傾向

今年、おせち料理を食べる予定の人（P5 図5 参照）に、どのように用意するか尋ねたところ、「煮物など一部手作りして他は購入する」が54%、「すべて購入する」は13%となっており、おせち料理を購入すると回答した人は67%となっています。

2009年の調査と比較すると、手作りする人は35%から31%に減少した一方、購入する人は4ポイント上昇しています。おせち料理を購入するという慣習は徐々に広まっているようです。（図9）



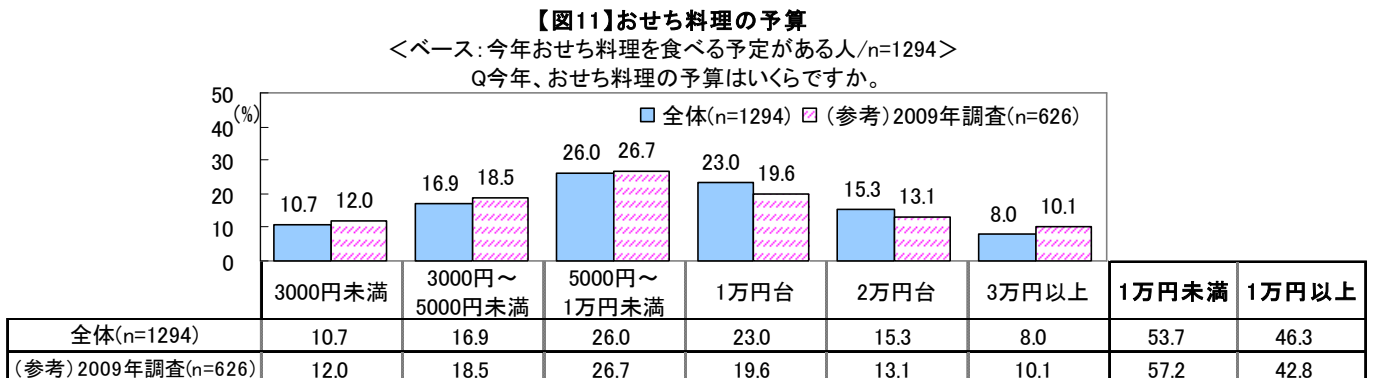
おせち料理を購入する予定がある人に、どこで購入する予定か尋ねたところ、「スーパーマーケット」が58%と約6割を占め、次いで「百貨店」が18%となっています。（図10）



■ 今年のおせち料理の予算は「10,000円以上」が46%、購入予算は増加傾向

おせち料理を食べる予定がある人に、その予算について尋ねたところ、「5,000～10,000円未満」が26%で最も多く、次いで「10,000円台」が23%、「3,000～5,000円未満」が17%となっています。

2009年調査と比較すると、「1万円以上」と回答した人が4ポイント上昇しており、おせち料理の購入志向が高まっただけでなく、予算も上昇していることが窺えます。（図11）



V. 「年末年始に対する考え方」について

■ 「お正月は日本の大切な文化なので大切にしたい」 9割

年末年始に対する考え方について尋ねました。‘お正月は日本の大切な文化なので大切にしたい’という考えについて、「そう思う（そう思う+ややそう思う）」と回答した人は88%、‘お正月を迎えると新たな気持ちで頑張ろうと思う’人は84%となっています。

‘不景気だが、お正月くらいは豪華にいきたい’に関して、男女別にみると、女性で「そう思う」と回答した人は56%と男性（44%）に比べ12ポイント高くなっています。また年代別にみると、若年層ほど「そう思う」と回答する人は多くなっています。

男性より女性、高齢層より若年層の方が、正月は気前がいいようです。（図12）

【図12】年末年始に対する考え方

Q.以下の年末年始に関することについて、あなたのご意見をお聞かせください。

計
そ
う
思
う
わ
な
い
思
わ
な
い

考え方	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計	そう思う	な い 思 わ な い
お正月は日本の大切な文化なので大切にしたい	46.5	41.9	9.7	2.0	88.4	11.7	
お正月を迎えると新たな気持ちで頑張ろうと思う	42.1	42.1	13.5	2.5	84.2	16.0	
お正月は海外よりも、日本で迎えたい	46.2	35.9	14.8	3.2	80.5	19.6	
お正月は遠出は避けて、家で過ごしたい	37.2	43.3	17.2	2.4	82.1	18.0	
お正月は家族の大切さを再認識する	32.6	43.2	20.6	3.7	75.8	24.3	
不景気だが、お正月くらいは豪華にいきたい	13.1	36.7	42.5	7.8	49.8	50.3	

【図12-1】不景気だが、お正月くらいは豪華にいきたい（男女別・年代別）

性別	年代	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	計	そう思う	な い 思 わ な い
全体	(n=2000)	13.1	36.7	42.5	7.8	49.8	50.3		
男女別	男性	(n=998)	11.9	32.1	45.9	10.1	44.0	56.0	
	女性	(n=1002)	14.3	41.2	39.0	5.5	55.5	44.5	
年代別	20代	(n=331)	19.6	38.4	35.3	6.6	58.0	42.0	
	30代	(n=435)	13.6	42.1	36.1	8.3	55.6	44.4	
	40代	(n=405)	11.6	36.3	45.7	6.4	47.9	52.1	
	50代	(n=393)	11.5	35.1	43.3	10.2	46.6	53.4	
	60代	(n=436)	10.6	31.7	50.5	7.3	42.2	57.8	

□ そう思う □ ややそう思う □ あまりそう思わない ■ そう思わない

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内100万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
 本社 ■東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 URL ■www.macromill.com
 設立 ■2000年1月31日
 資本金 ■16億2,611万円 ※2011年12月1日現在
 上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
 従業員数 ■548名 ※2011年11月末現在
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報室：大野
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

〈例〉「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

